

古都祝奈良2024-2025 事業計画(案)

KOTO
HOGU
NARA

ことほぎ
なら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

□ 令和6年度 事業方針

- 令和6年度のメインプログラムは美術とし、ならまちワンダリングをはじめとしたプログラムを展開する。
- その中で令和8年度（2026）の東アジア文化都市10周年を見据え、機運醸成を図るプログラムを実施する。
- 演劇部門では令和5年度から発展して繋がるプログラムを展開する。

令和6年度 事業構成【美術部門】

「ならまちワンダリング」 プログラム・ディレクター 小山田 徹

ゼミ…研究室

ならまちセンターを拠点に
アートを深める取り組み

ラボ…実験室

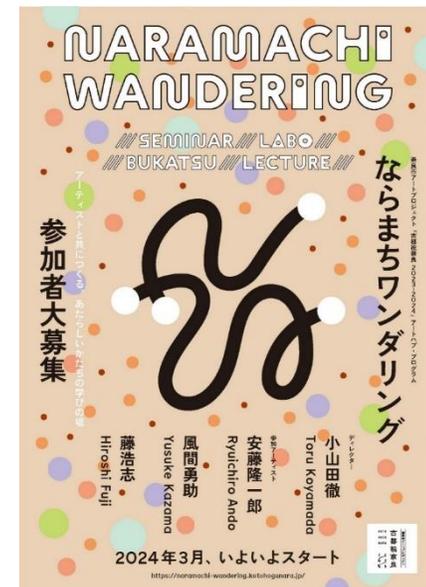
ならまちゲートや様々な取り
組みを実験的に展開

部活…街の居場所

市民のネットワークを通じて、
好きな活動や居場所の充実

座学…ゆるやかな 共有空間

ゲストトークや集まった方と
焚火を囲むグリーンマウンテ
ンカレッジ



「古都祝奈良の学校（仮）」

3泊4日程度の集中講座。ならまちセンターを拠点にレクチャー、ワークショップ、フィールドワークを通じて、じっくりやんわりアートを学べるセミナーを開講し、2026東アジア10周年に向けての機運を醸成する。

【テーマ案】

①アートプロジェクトセンターをつくろう

②奈良のまちの課題？

③アートでできること

「2026東アジア10周年へ向けて」

・シンポジウム、ワークショップの開催

・内容検討

※美術部門ディレクター候補者の選定も行う。

ならまちワンダリング

市民が主役となる「部活動」等、ベテランから新進気鋭のアーティストと共に分野や活動地域も幅広いセレクションによるアートプロジェクト。

参加作家候補(一部)

ディレクター



KOYAMADA TORU

小山田 徹

(美術家・京都市立芸術大学教授)



参考作品: グリーン・マウンテン・カレッジ

参加アーティスト



ANDOU RYUICHIROU

安藤 隆一郎

(京都市立芸術大学准教授
染織専攻 蠟染・身体翻訳専門)



KAZAMA YUSUKE

風間 勇助

(奈良県立大学 地域創造学部講師)



吉原 和音

(アート・コミュニケーション研究センター 研究員)

IZUMI TAROU

泉 太郎

映像、パフォーマンス、ドローイング、絵画、彫刻といったあらゆるメディアを交錯させたインスタレーションを主な表現手法とするアーティスト。



参考作品
個展「ex」ティンゲリー美術館

令和6年度 事業構成【演劇部門】

「青少年と創る演劇 Lite」

オムニバス形式演劇ワークショップ

令和5年度のWS、戯曲講座で作成した作品に生演奏を入れて、ミニ演劇として制作・発表

ディレクター案



田上 豊

(劇作家・脚本家・演出家。
劇団田上パル主宰。芸術文化観光専門職大学助教授)

参加講師候補



小野 小町

(劇団 小町座 主宰、
日本劇作家協会会員)



福田 健二

(俳優・殺陣師)



ごまのはえ

(劇作家・演出家・俳優)

「まちなか舞台」

劇場だけで演劇を行うのではなく、公園・商店街・オープンスペースなど、劇団員が劇場を飛び出して演じる。

(身内だけでなく、古都祝奈良を知らない人が関心を持つきっかけづくり)

劇団を公募し、劇団と場所をコーディネート



《場所候補》

- 「SUN DAYS PARK」
- 「西大寺一条線」
- 「市役所南庭」
- 「市役所屋上」

